

平成19年度第9回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議  
議 事 録

日 時：平成19年12月10日(月)午前10時~午前11時50分

場 所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出 席：学長 米澤和彦  
副学長 古賀 実  
事務局長 角田岩男  
文学部長 三木悦三  
環境共生学部長 大和田紘一  
総合管理学部長 松野了二  
学術情報メディアセンター長 松岡 泰  
委員 河原畑廣  
委員 源島真一郎  
委員 坂本元子

オブザーバー：半藤文学研究科長、永尾アドミニストレーション研究科長

事務局：豊田事務局次長、手島総務課長、稲葉企画調整室長、井上教務入試課長、鉄戸学生支援課長、田中学術情報メディアセンター事務長、安達入試班長、枝國主幹、元島主幹、林参事、郡山参事

1 開会(進行：豊田事務局次長)

2 学長挨拶

3 議事(議長：米澤学長)

(1) 審議事項

平成20年度特別選抜の合格者決定について

まず、事務局から、資料1に基づき、平成20年度特別選抜入学試験の結果概要について説明があった。その後、各学部長から、資料1及び資料2の判定資料(会議後回収)に基づき、次のとおり説明があった。

三木文学部長から、「日本語日本文学科では、推薦入試の募集人員5名に対し、7名が志願、受験した。上位5名を合格としたい。英語英米文学科では、推薦入試の募集人員7名に対し、13名が志願、受験した。上位8名を合格としたい。社会人特別選抜は、募集人員若干名に対し、2名が志願、受験した。上位1名を合格としたい。帰国子女特別選抜は、募集人員若干名に対し、1名が志願、受験したが、不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

大和田環境共生学部長から、「環境資源学科では、推薦入試の募集人員3名に対し、10名が、志願、受験した。上位3名を合格としたい。居住環境学科では、推薦入試の募集人員4名に対し、5名が、志願、受験した。上位4名を合格としたい。社会人特別選抜は、募集人員若干名に対し、志願、受験した1名を合格としたい。食健康科学科では、推薦入試の募集人員4名に対し、15名が、志願、受験した。上位4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

総合管理学部からの説明前に、古賀副学長から、総合管理学部特別選抜(推薦入試)における出題ミスとその対応について、12月4日に発表した報道資料に基づき、出題ミスの内容と対応について説明があった。

松野総合管理学部長から、「総合管理学部総合管理学科では、推薦入試の募集人員50名に対し、87名が志願、受験した。上位52名を合格としたい。社会

人特別選抜では、募集人員若干名に対し、3名が志願、受験した。上位1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

委員から、面接の配点の割合、小論文のテーマ等について、質疑応答があった。

学則の改正について（環境共生学部における学科の再編、入学定員及び収容定員の見直し、人材養成等に関する目的の明確化、新たな職として学科長（総合管理学部にあつては、コース長）を設置、総合管理学部における卒業要件単位の変更等）

大学院学則の改正について（人材養成等に関する目的の明確化、文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程の設置、長期履修制度の導入、課程修了要件単位の整理

（議題、については併せて説明、審議）

事務局から、資料3に基づき、学則及び大学院学則の改正について、「学部及び大学院における組織改編等に伴い、必要となる学則の変更を行い、文部科学省に届出を行うものである。」との説明があった。

また、事務局から、資料4に基づき、長期履修制度について、「平成20年度入学生からの導入に向け、対象者、長期履修期間、期間の変更、授業料の扱いについて検討している。」との説明があった

審議の結果、学則及び大学院学則の改正について、案のとおり議決した。

熊本県立大学大学院における教育研究上の目的に関する規程の制定について

事務局から、資料5に基づき、熊本県立大学大学院における教育研究上の目的に関する規程の制定について、「大学院設置基準の改正に基づいて、人材の養成に関わる目的、その他の教育研究上の目的を学則等に定め、公表することが求められるため、各研究科の目的及び各研究科の人材養成目的を内容とする規程を定めたい。」との説明があった。

審議の結果、熊本県立大学大学院における教育研究上の目的に関する規程の制定について、案のとおり議決した。

助手採用に係る枠取りについて

事務局から、配付資料（会議後回収）に基づき、平成20年度教員枠取り・採用手続き状況について、説明があった。

続いて、大和田環境共生学部長から、資料6に基づき、「環境共生学部食健康科学科の管理栄養士及びそれに関連する実験実習の補助を行う助手（任期付き）を平成20年4月1日採用とする枠取りをお願いしたい。」、松野総合管理学部長から、「ネットワーク管理及び情報処理実習支援等を行う情報（情報科学、情報工学、電子情報、電子・電気等）を専門分野とする助手（任期制）を平成20年4月1日採用とする枠取りをお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、助手採用に係る枠取りについて案のとおり議決した。

教員の採用について

三木文学部長から、資料7-2に基づき、歴史学担当の教員採用について、「公募に対して54名の応募があった。文学部内での選考手続きを進め、候補者を選定した。平成20年4月1日付けで講師として採用していただきたい。」との説明があった。

松野総合管理学部長から、資料7-3に基づき、プロジェクト管理担当の教員採用について、「公募に対して18名の応募があった。総合管理学部内での選考手続きを進め、候補者を選定した。平成20年4月1日付けで講師として採用していただきたい。」との説明があった。

続いて、米澤学長から、資料7-1に基づき、「12月7日に開催された資格

審査委員会の結果として、2人の候補者の研究・教育業績等について審査を行い、両名の講師としての採用が適当であるという結論に達した。」との報告があった。

審議の結果、歴史学担当の教員採用及びプロジェクト管理担当の教員採用について、案のとおり議決した。

#### 副学長の選考について

(議題の審議の間、古賀副学長退席)

米澤学長から、副学長の選考について、「古賀実副学長の任期満了に伴い、熊本県立大学副学長選考規程第3条及び第4条の規定に基づき、古賀実 環境共生学部教授を副学長候補として提案したい。候補として選考した理由は、総合的に判断した結果、また、2年間の副学長としての教育・研究・大学運営に関する活動を評価したからである。」との説明があった。

審議の結果、副学長の選考について、案のとおり議決した。

## (2) 報告事項

### 研究費の適切な運営・管理体制の整備について

事務局から、資料9に基づき、研究費の適切な運営・管理体制の整備について、「研究費の不正使用への対応に関する取組として、文部科学省からの通知に基づき、本学における研究費の適切な運営・管理のための体制を整備し、11月14日から施行し、教員に周知した。12月20日、21日に説明会の開催を予定している。」との報告があった。

### 菊池市との包括協定並びに九州電力熊本支店及びN T T西日本熊本支店との協力講座に係る協定締結について

地域連携センターから、資料10に基づき、「11月22日に菊池市と包括協定を、11月27日に九州電力熊本支店と協力講座に係る協定を締結した。また、12月13日にはN T T西日本熊本支店との協力講座に係る協定を締結予定である。」との報告があった。

### 12月期定例記者会見の実施について

事務局から、12月期定例記者会見を12月18日午前11時から開催予定であるとの報告があった。

### 創立60周年記念シンポジウム「冬・進歩・・・大学と社会」の実施について

事務局から、資料11に基づき、創立60周年記念シンポジウム「冬・進歩・・・大学と社会」の実施について、「シンポジウムのテーマは『大学における学びと社会での実践』とし、対象は同窓生をはじめ広く県民の皆様とし、内容は第1部で各学部フォーラム、第2部で客員教授 宮崎暢俊氏を講師に特別講演、第3部は記念パーティを行う予定である。」との報告があった。

## 4 閉会